

池田市上下水道BCP【地震編】

～災害に強い上下水道をめざして～



水道、下水道は人が生活する上で最も大切なライフラインです。池田市上下水道部では、大規模地震が発生した場合に迅速な復旧活動へ移行できるよう、業務継続計画（BCP）を策定しました。災害に強い上下水道が築けるよう、みなさまのご理解・ご協力をお願いいたします。

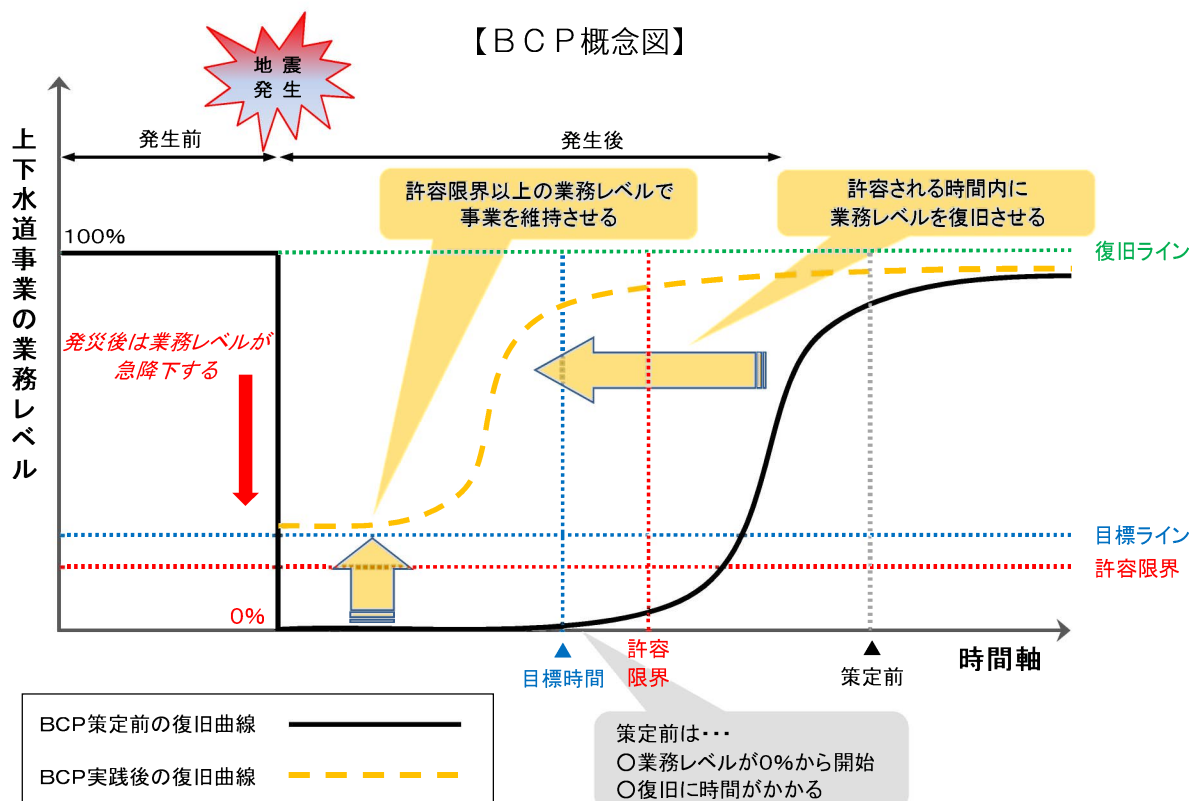
➤ BCPってなに？

BCP（Business Continuity Plan）とは業務継続計画と言われ、大規模な災害が発生したときに、被害を最小限にとどめるとともに、様々な※リソースが制限されることを想定し、復旧活動計画をあらかじめ作成することで、早期復旧を目指すものです。池田市上下水道部では今回「地震編」を策定しました。

※リソース（資源）・・・人員や業務に扱う資機材、また電力や通信などのその他ライフラインも含まれます。

➤ BCPがあると今までとどう違うの？

BCPがなければ、災害が発生した場合、一時的に通常行っている業務が滞ります。そうすると、上下水道事業の業務レベルが大きく低下し、本来のサービスが行えなくなります。しかし、BCPがあると、災害時においても滞ってはいけない業務や、最優先される上下水道施設の調査・点検などをスムーズに行うことを可能とし、一定の業務レベルを確保します。その後、復旧活動においても各職員の役割やスケジュールを明確にすることで、復旧時間を短縮します。具体的な内容につきましては、『3つの計画』を次ページでご紹介します。



➤ BCPの軸である『3つの計画』とは？

✚ 非常時対応計画

BCPの中で最も主要な計画で、災害発生後に職員がいつ、何をすべきかを明確にしたもので、これにもとづきスムーズな復旧活動を行います。災害時においては、われわれ職員も全員が無事に職場へ駆けつけられるとは限りません。他市の事例を参考に、災害時の職員がどの程度集まれるかを想定した上で作成しました。また、行動計画についても、事前に優先業務の選定をおこなっており、復旧時間の短縮を図っています。

✚ 事前対策計画

現時点では準備できていない対策について、今後計画的に整備するために作成したものです。非常時対応計画の目標時間や対応時間を少しでも早めるために、事前に資料の作成や資機材の準備を行います。例えば、応急給水活動が効率的に行えるよう、各避難所に緊急貯水槽の設置を検討することや、災害時でも使用できるマンホールトイレシステムの整備などが挙げられます。

✚ 訓練・維持改善計画

各職員が非常時対応計画にもとづきスムーズに行動できるよう、定期的な訓練を行います。また、訓練を行ったのち改善点を見出し、計画に反映します。また、BCPが常に最新の状態を保つよう、毎年定期的に内容のチェックを行い、更新します。



（図上シミュレーション訓練）



（応急給水実地訓練）

➤ 住民のみなさまへのお願い

災害対策に関して、「**自助**・**共助**・**公助**」という言葉があります。「**自助**」は自ら守ること、「**共助**」は近隣が互いに助け合って地域を守ること、「**公助**」は公的・民間団体の支援を指します。一人ひとりが防災について意識し、地域が連携することによって、被害を最小限にとどめることができます。ここでは具体的な対策を紹介します。

✚ 飲料水の備蓄をしましょう

日ごろから3日分の飲料水を備蓄しましょう。（目安は3L/日×3日分×家族の人数）

✚ 避難所を確認しましょう

いざというとき、どこに避難するのか、また飲料水が無いときはどこに行けばもらえるのか、事前に把握しておきましょう。応急給水は指定避難所（各市立小学校）や福祉避難所（中央公民館、保健福祉総合センター）で行われますので、空の給水タンクなどを準備しておくとう便利です。

✚ 家族で話し合いましょう

大地震が起こったときに、まず何をすべきか家族と話し合いましょう。自分や家族を守ることができるのは、やはり自分です。日ごろから防災を意識することで、いざという時に役立つことがきっとあるはずです。

【お問い合わせ】

池田市上下水道部経営企画課
池田市大和町1番10号
TEL：072-754-6069

